

報告書

2024MHC 登山講習  
ハイキング編

# 紅葉の上高地・乗鞍高原散策

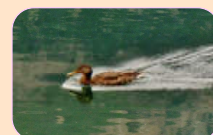
2024 紅葉の上高地から  
撮影 鈴木 雅則



主催 NPO 法人 松本ヒマラヤ友好会《MHC》

本部事務所 松本市島立 4539-7 TEL 47-6197 FAX 47-5685

E-mail : [mhc@lily.ocn.ne.jp](mailto:mhc@lily.ocn.ne.jp) ホームページ : <http://www1.ocn.ne.jp/~mhfc/>



マガモ

10月26日 AM7:00。松本島立の県合同庁舎駐車場に参加者3名が集合し、MHCの車に同乗し、出発する。天候は上空に雲が覆う天気。国道158号線を走り1時間ほどで沢渡を経過し、さらに奥にMHCの入園許可車で進み、釜トンネルの坂道を登り抜けると、30分ほどで上高地大正池畔に到着。秋色に染まる静かな池畔から、無雪の荒々しい岩肌をむき出した穂高岳を望む。



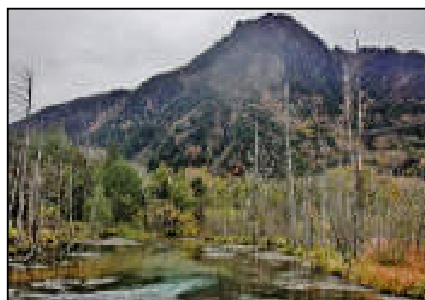
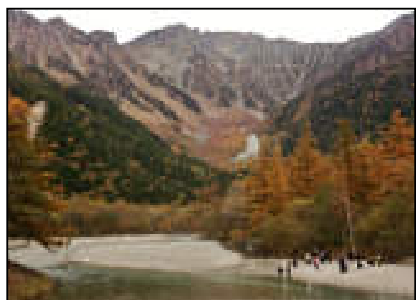
秋の大正池畔から仰ぐ穂高岳



河童橋袂の梓川河原にたたずむ参加者

AM9:00,上高地バスターミナルに到着。その脇のスペースに車を置き、バスターミナルの2階食堂で支配人が用意してくれた、熱いコーヒーを味わい、ほっと一息。この2階特別室では、松本ヒマラヤ友好会の山岳写真展「上高地・北アルプスの美しい自然」が11月15日まで、開催されており、展示状況を確認する。

そこからしばらく歩き、河童橋を渡り、梓川右岸を明神へ向かう、槍ヶ岳を水源とする梓川の河原には、観光客が降り立ち、写真を撮りあって歓声を上げている。梓川右岸沿いの整備された小道。そして木道を歩き、明神に向かう。立ち並ぶ木々の枝越しに、梓川対岸に聳える六百山や秋色の穂高岳を望む。



河童橋袂から見上げる秋の穂高岳 バスターミナル2階のMHC上高地・槍穂高写真展 梓川右岸からの六百山の雄姿

1時間30分ほどで、紅葉に彩られた明神に到着。休憩所の明神館は、大勢の観光客で混んでいたが、なんとか囲炉裏わきに陣取ることができ、イワナの塩焼きに舌鼓を打つ。腹ごしらえの後、梓川に架かる橋を渡り、整備された、梓川左岸の林道を歩き、上高地へ引き返す。停車してあった車に再び乗り込み、林の中の車道を走り、釜トンネルの坂道を下る。国道158号線の幾つかのトンネルを抜け、乗鞍岳番所へ向かって蛇行する車道を登る。

PM3:30、車道沿いに建つ、今日の宿ペンション「ほうき星」に到着する。一休み後、車で10分ほど登り、市営温泉「新湯けむり館」に入浴し。浴槽内で体を伸ばし今日の疲れを癒すことができた。入浴を済まして、今日の宿「ほうき星」に戻る。ほうき星では、暖炉に薪が焚かれ、気の利いた、フランス風料理(?)の夕食を用意してくれていた。この料理を、ビール、ワインを飲みながら賞味し、談笑し、静かな乗鞍岳の夜を過ごすことができた。PM9:00には、早めに就寝し、この夜ゆっくりと眠り、久しぶりに夢を見る。

翌日 10月27日、朝を迎え、部屋の窓のカーテン越しに、小雨上がりの曇り空を見上げる。軽い朝食後、ペンションの主人に別れを告げ、乗鞍高原三本滝に向かうことにする。そこは、標高も高く、紅葉も深く味わうことができるだろうと期待して、又車でそこまで登ることができると思ったからだ。白樺林の中の蛇行道路をエンジンをうねらせ登る。専用駐車場にたどり登り着くと、枯草に覆われたスキーゲレンデが、正面に壁のようにそそり立っている。枯れたススキが、風に揺れている。雲が流れる青空を見上げ、その枯草の土手斜面に腰かけ、持ってきたテルモスの湯をコップに注ぎ、喉を潤す。



紅葉の鈴蘭から仰ぐ乗鞍岳



流れ落ちる善五郎の滝

小休止後、車に乗り込み、下山する。途中道路沿いのスペースに車を置き、そこから車を降り、山道の枯草を踏んで、乗鞍岳と善五郎の滝の流れを展望する展望台へ歩いていく。穏やかな日和、滝を眺めに来る観光客数組とすれ違う。「こんにちわ」と、挨拶を、屈託なく交し合う。

「善五郎の滝」と別れを告げ、今度は一ノ瀬園地へ向かう。どじょうの池を訪ねると、湿地の池面は枯草に覆われ、周囲の紅葉した木々の高みに、乗鞍岳が王者のごとく、堂々と聳えている。「おお、乗鞍岳！」その姿に、畏敬の感動を覚える。そこから10分ほど奥へ進むと真っ赤に紅葉した「カエデの大木」に出会う。乗鞍高原一ノ瀬園地は、紅葉真っ盛りだった。



真っ赤に紅葉した大カエデを背景に記念撮影



どじょうの池から望む、王者の風格、乗鞍岳

昼食の時間となり、少し下った猪谷スキーゲレンデ麓の店で新そばを味わう。キノコのテン普拉、そば団子、も添えられ、最後に熱いそば湯をすすり、大満足の食事となった。「ああ、うまかった！」正直な気持ちだった。そば店にお礼を言って、車に乗り込み、沢渡を経由してPM2:45松本に帰還し、解散とした。

「紅葉の上高地・乗鞍高原散策」は、華やかさと散りゆくさびしさと厳しい冷気を感じさせる、**哀愁漂う山旅**だった。」

MHC 登山講習責任者 MHC 理事長 鈴木雅則

## 紅葉の上高地 と 乗鞍高原

10月26日(土)～27日(日) ≪1泊2日≫



大正池と晩秋の穂高岳

	参加者氏名	住 所
①	タケダ マサヨ 武田 昌代	松本市筑摩
②	オリノ カストミ 折野 和富	安曇野市豊科高家
3		
6	ススキ マサリ 鈴木 雅則	松本市島立

### ◆連絡先

・松本ヒマラヤ友好会事務局	松本市島立4539-7	0263-47-6197
・鈴木理事長携帯		080-6938-8650
・佐藤保険事務所	松本市島立726-8	0263-47-7500 090-8963-4685
・ペンションほうき星	松本市乗鞍高原番所	0263-93-2415

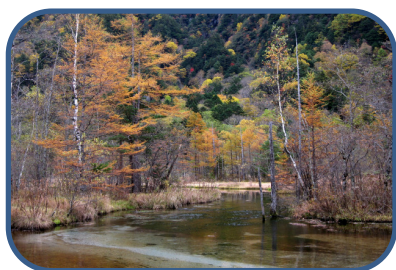


嘉門次小屋

### ◆日程(予定)

26日(土) 県松本合同庁舎駐車場集合(AM7:00) → 沢渡(AM8:00)集合・タクシー → 上高地バスターミナルへ。荷を置き、身軽になって散策。明神では、囲炉裏端で焼いたイワナを賞味して昼食。左岸を引き返し、午後、沢渡から自家用車で乗鞍高原番所、ペンション「ほうき星」へ向かい、泊す。

27日(日)ほうき星(AM8:30) → 白樺林の一ノ瀬園地散策～(12:00)昼食休憩・日本そばを賞味 → 自家用車 → 県松本合同庁舎駐車場(3:00)・解散とする。



田代湿原



善五郎の滝



紅葉したカエデの大木と乗鞍岳